

『Mind Charging』

第 154 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 11 月 16 日

『漫画：ハイキュー!! 菅原孝支』の名言



“俺の仲間”はちゃんと強いよ。

ストーリーの中で彼はレギュラーではなく控え選手です。レギュラーになれなかった悔しさは当然ながら持っていると思いますが、『このメンバーのためなら』と思うことができているのではないのでしょうか。この言葉から仲間に対する“リスペクト”を強く感じることができます。

日々を過ごす中で様々なシーンがありますが、自分自身が主役になったり脇役になったりと、“立ち位置”のようなものは色々と変わります。どんなシーンにおいても“自分は中心にいる”ということとはなかなかないと思います。ただ、誰もが自分の利益を考えますから本当は“指定席”が欲しいわけです。しかし、それは存在しないために時として指定席の奪い合いになってしまうこともあります。それが『わがまま』というものだと私は考えます。

わがままが通れば当然『楽』になります。人は弱い生き物ですから楽であれば楽な方を選びたい衝動にかられます。その衝動を抑えきれない時は周りの人に対する“リスペクト”という概念は消えてしまっている状態であり、その先には必ず『後悔』が訪れることでしょう。誰もが自分の人生に対して必死で向き合っています。どんな時でも自分の欲求を最優先するということは、悪い意味で人を巻き込んでしまうことであり、その行為に対して気分を害さない人はいません。落ち着いて考えれば間違いない“ミス”を犯してしまうリスクは、常に自分自身の中にあるのです。

一時的な感情によって“一生モノの友達”を失いかねない『自我』をどのように抑える(付き合っていく)のかは、やはり先に述べた『仲間に対するリスペクト』ではないのでしょうか。私たちは家族を含めた多くの仲間の支えによって日々を過ごすことができます。そして、支えてもらった分は他の仲間を支えるエネルギーに変えていかなければなりません。『困った時はお互い様』という言葉がありますが、困った時だけでなく、最高に幸せな瞬間も共有するために仲間を常に大切に思う姿勢は必要なのではないのでしょうか。誰にでも胸を張って“誇れる仲間”を是非とも作っていきましょう！正智深谷は素敵な仲間と最高の高校生活が体験できる舞台です！（編集委員：入試広報室 鈴木）

『ハイキュー!!』は、古舘春一による高校バレーボールを題材にした日本の漫画作品。『少年ジャンプ NEXT!』(集英社)2011 WINTER・『週刊少年ジャンプ』(集英社)2011年20・21合併号にそれぞれ読切版が掲載された後、『週刊少年ジャンプ』にて2012年12号から2020年33・34合併号まで連載された。(Wikipedia 参照)